

中学校社会科授業実践例

ICTを効果的に活用した実践

単元名 九州地方(全8時間)(内容のまとめり C(3) 日本の諸地域)

単元を見通した課題 東九州新幹線は20年後の九州にどのような影響を与えるのだろうか

社会科の学習過程のイメージ	学習活動	評価規準
課題把握 動機付け 方向付け	・九州の現状と課題について、予想を共有する中で、東九州新幹線の計画を示し、単元の課題を設定した後、学習の見通しをもつ。	・九州地方の現状と課題について予想して自分の考えを書いている。また、単元の学習の見通しをもつことができている。
課題追究 情報収集 考察・構想	・書籍や1人1台端末を用い、東九州新幹線が九州地方に与える影響について調べ、課題解決に必要な情報を選択し、整理する。 ・整理した情報から東九州新幹線が九州地方に与える影響について、個人で考察する。	・東九州新幹線が九州地方に与える影響について調べ、必要な情報を選択し、整理している ・東九州新幹線が九州地方に与える影響について考察し、自分の考えを根拠を明確にして文章で表現している。
課題解決 まとめ	・班で考えを交流し、自分の考えを見直し、修正した後班でプレゼンテーションを作成し、班同士で説明し合う。	・根拠を明確にして、単元を見通した課題について多面的・多角的に考察し表現している。
新たな課題 振り返り	・これまでの学習を基に、九州地方の特色をまとめ、文章で表現する。 ・単元の振り返りを行う。	・九州地方において、東九州新幹線が与える影響を、多面的・多角的に考察し、表現している。

RESASを用いて他県の先行事例を調べ、東九州新幹線が九州に与える影響を考察する活動

北陸新幹線(東京～金沢)の開通前と開通後の石川県における宿泊者情報を比較する

RESAS-観光マップ

宿泊者分析

石川県(2014年)・(2015年)

【資料1】石川県の居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合

都道府県	割合
東京都	12.4%
大阪府	12.1%
愛知県	9.2%
石川県	6.6%
神奈川県	6.5%
その他	28.0%

都道府県	割合
東京都	21.0%
神奈川県	10.8%
埼玉県	9.3%
大阪府	7.6%
千葉県	6.6%
その他	25.4%

宿泊者数が1年間で100万人増加しているね

開通後の2015年は2014年と比べて東京や埼玉など東京圏の割合が増加しているね

九州新幹線(博多～鹿児島)の開通後の鹿児島県における人口移動グラフの推移を読み取る

RESAS-人口マップ

社会増減分析

鹿児島県人口移動(グラフ分析)

【資料2】地域ブロック別純移動数

開通後の2012年から2015年にかけて転出人数が増加し続けているね

特に九州地方や東京圏への転出人数が多いね

生徒の考察例：石川県では新幹線が東京と直結したことで、東京圏からの宿泊者が増え、宿泊者総数も増加しています。鹿児島県では新幹線が福岡と直結したことで、大都市への転出が進んでいます。東九州新幹線が開通すると沿線の県では、観光業が活性化する一方でスロー現象が生じることが考えられます。

異なる情報を見比べたり、結び付けたりして読み取ることが社会的事象等について調べまとめる技能の育成につながります。また、習得した知識を既習の知識と関連付けたり組み合わせたりすることが、知識の概念化(生きて働く知識)へとつながります。